

8-4-10 河川計画専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を計 9 回（4 月～12 月）開催し、河川講習会、河川見学会等の企画・運営について審議した。委員会は対面と Web を併用した。

(2) 河川講習会の開催

第 34 回河川講習会を Web 形式で開催し、総視聴回数 970 回、同時視聴者数 530 名の方に参加いただいた。テーマは令和 7 年 6 月に答申を受けた「流域総合水管理のあり方」を踏まえ、流域の関係者が連携して行う治水・利水・河川環境の取組に視点をあて、「気候変動下の流域総合水管理～流域治水・水利用・流域環境の一体的な取組～」と題して 3 名の講師に講演いただいた。

a) 開催日時

令和 7 年 11 月 7 日（金）13:00～16:30

b) 講演テーマと講演者

①「流域総合水管理について」

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課
河川技術調整官 菅 良一 氏

②「水力発電ダム・貯水池機能の再開発について」 電源開発株式会社 土木建築部 ダム再生推進室 室長 松原 隆之 氏

③「ネイチャーポジティブの実現に向けた河川環境目標と流域総合水管理への展開」

国立研究開発法人 土木研究所 自然共生研究センター センター長 森 照貴 氏

c) 参加者：タイムリーな講演内容であったこと、Web 形式での開催であったことから、全国から参加があった。

d) 講演概要：菅氏からは、流域総合水管理のあり方、政策的な背景や意義等について説明いただいた。松原氏からは、水力発電ダム・貯水池機能の再開発による流域総合水管理やカーボンニュートラル実現に向けた取組について紹介いただいた。森氏からは、環境政策の動向や生物多様性の回復を企図した川づくり、河川環

境目標について事例交えて紹介いただいた。

(3) 河川見学会の開催

全国の若手技術者等を対象に、第 18 回河川見学会を開催した。昨年度のアンケート結果でも地方開催の要望が高く、今年度は北陸地方での開催とし、参加者は 40 名であった。

a) 開催日時

令和 7 年 10 月 31 日（金）12:30～17:00

b) テーマと開催場所

- ・テーマ：信濃川大河津分水路の歴史・役割と令和の大改修を学ぶ
- ・開催場所：信濃川大河津資料館・分水路施設、にどこみえーる館・改修工事現場

c) 見学内容

信濃川大河津資料館・分水路施設では、NPO 法人信濃川大河津資料館友の会に施設概要、歴史、工事の技術等を説明いただき、旧洗堰、洗堰、堰操作室等を見学した。次のにどこみえーる館では、信濃川河川事務所副所長より改修工事の全体像を説明いただいた後、第二床固改築工事現場へ移動し、設計・施工方法を説明いただいた。

いずれの場所でも、活発な質疑が行われ、参加者同士で交流する姿も見られた。

(4) 研修会への講師の派遣

全国建設研修センターより要請を受け、2 テーマの自治体職員向け研修会へ講師派遣を行った。

(5) RCCM 自主教材の改訂

RCCM 自主教材の改訂の必要性について確認を行い、修正作業を実施した。

2. 次年度の活動について

河川計画専門委員会では、会員からの開催要望が多い河川講習会および河川見学会を継続して実施し、テーマや開催方法等については、社会的動向やアンケート結果等による会員ニーズを踏まえた有意義なものとなるよう努める。また、講師派遣や意見交換会等の対外的活動についても積極的に実施し、活動の充実を図っていきたい。

（河川計画専門委員会委員長 加藤 千恵）